

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成13年度～		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	17 情報通信
事務事業名	03	地域情報拠点施設の整備事業	
このシート作成に要した時間			3.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	公共施設・学校などを情報拠点として利用する市民 施設の移転の際は、移転対象施設の担当者及び事業受託者
目的(何のために)	市内の公共施設や学校などを地域情報拠点と位置づけ、機能の充実に努めることにより市民生活の利便性向上を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地域情報拠点施設としての公共施設・学校の機能充実と安定接続の維持。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
地域情報拠点施設の整備業務	既存施設との安定接続の維持。 移転の場合は、予定やネットワーク変更の内容をヒアリングし、基幹業務系・情報系・公開系などネットワーク特性に合わせた仕様や光ファイバー工事仕様などの情報をネットワーク保守業者などと協議し、担当課へ提示する。	
目的を達成するため実施した事業		

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
事業費	直接事業費	千円	0.03人	299	0.01人	58
	必要人員	人		299	58	178
	人件費	千円		299	58	178
決算額	国・県支出金	千円				
	受益者負担					
	繰入金					
	その他()					
一般財源	%		299	58	178	
受益者負担比率	%		-	-	-	

結果指標		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
担当課協議回数	説明		6	4	3
結果指標	施設の移転等に関し、担当課と協議した回数		6	4	3
対前年比	%		-	66.7%	75.0%
活動コスト	円		299,000	58,000	178,000
単位当たりコスト	円		49,833	14,500	59,333

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
接続トラブル発生回数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	0	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
地域情報拠点との安定接続の維持がこの事業の命題である。					

事務事業の評価		5段階評価(A-E)のランク基準	A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A-E> A
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

事業の目的やその数値目標を留意しながら効率性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	備前病院の建替工事がスタートしており、トラブルが発生しないように担当課との調整を行っていく。既存施設の安定稼働に注力している。					

総合評価		5段階評価(A-E)のランク基準	A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
施設移転や建替に伴うネットワーク工事等でトラブルの発生はなかったが、今後とも既存施設の安定接続を維持していくことが重要である。人件費中心の事業で事業費も少ないが、安定接続維持のため継続する必要がある。	評価区分<A-E>	B	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	備前病院建替工事に伴う移設を含め、既存施設の安定稼働を継続する。					